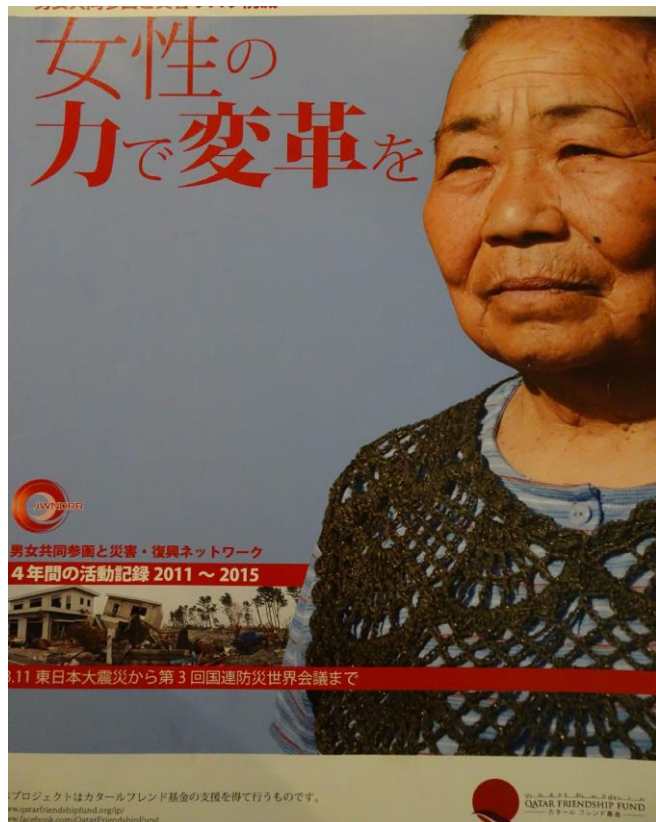


女性リーダーの育成 女性の力で変革を



2014

- 世界各国の専門家との出会い
- 人材育成専門家会議(本郷提言)
- 国連防災世界会議準備会議、(リーダーシップ & トレーニングについて 発信)

2015

- 国連防災世界会議シンポジウム
「女性の力で改革を」
- 災害に強い社会のための提言とジェンダーに関する人材育成プロジェクト
(宮城県、仙台市、福島県)
- 地域での実践, JICA 課題研修事例

JWNDRR

青木玲子 山口文代 小林 花

2021.12.11@NWE フォーラム

2010年12月 国内政策で初めての分野成立
第3次男女共同参画基本計画 第13分野
地域、防災・環境 その他の分野に男女共同参画の推進」

人材育成に関する記述

イ 地域活動が行われている場を活用した男女共同参画の推進

女性リーダー等の人材育成のため、研修等の支援を行う他リーダーになりやすい**環境整備を図る**とともに、多様な動機付けの**仕組みを検討する**。

e 地方公共団体における男女共同参画の積極的推進

地方公共団体職員、地域活動を行うリーダー等の理解促進の研修の充実を図る

2013年5月「男女共同参画の視点からの取り組み指針」

2015年 第4次男女共同参画基本計画 第11分野

男女男女共同参画の視点に立った防災・復興体制の確立

2016年8月プログラムの内容の検討等行う「防災における女性のリーダーシップ推進に関する検討会」にJWNDRR参加

2020年「防災研修プログラムの改定に関する検討会」WNDRR参加

2020年 第5次男女共同参画基本計画 第8分野

ジェンダー視点に立った人材育成専門家会議

コンサルタントハワイ大学米国のシェリル・アンダーソン教授を囲んで



トレーニング・イニシアティブ (計画) 女性リーダー育成、実践に向けて

- 第3回国連防災世界会議準備会での専門家との出会い
- ジェンダー視点にたった人材養成専門家会議の開催
2014年10月6日～7日
6か国(USA、NZ、カナダ、ベトナム、フィリピン、日本)
から19人の出席 東京本郷で開催
国内外のトレーニング事例の発表。
- 人材育成のため計画(トレーニング・イニシアティブ実践に向けて、目標と目的、原則的なアプローチについて議論
- ハワイ大学 シェリルアンダーソン博士が「男女共同参画と防災トレーニング計画: 2015年から2025年のトレーニングのための戦略」としてまとめた
- 本郷提言(Women as a Force for Change)としてまとめ、発表

トレーニング・イニシアティブ 発信

ビジョン

リスクを削減し災害に強い(レジリエントな)社会を構築するために、すべてのセクターを通して、防災(DRR)リーダーシップにおける女性の役割と男女平等が実現されること

内閣総理大臣宛て要望書 2014.11

「兵庫行動枠組み2」に「女性のリーダーシップ」や「女性の意思決定の場への参画」を盛り込むと同時にそれらを実現するために、女性に対する教育(トレーニング・イニシアティブ)の重要性を明記すること。

第3回国連防災世界会議における女性メジャークループの意見表明 2015.3.15

- 女性の力で変革を-防災力強化のためのトレーニング計画

2015.3



災害とジェンダーに関する人材育成事業

カタルフレンド基金助成

- 2014年9月から2015年9月

ジェンダーの視点に立ったリーダー育成 国内プログラム

- 1) 「災害とジェンダーに関する人材育成国内プログラム検討会」を設置

- ジェンダーと人材開発に関する専門家4人と運営委員8人で構成
- 検討委員は、各地域を担当、事業検討会に参加し、情報収集を行った

- 2) **委託先 東北三県の男女共同参画センター**

「岩手県もりおか女性センター」、「福島県男女共生センター」

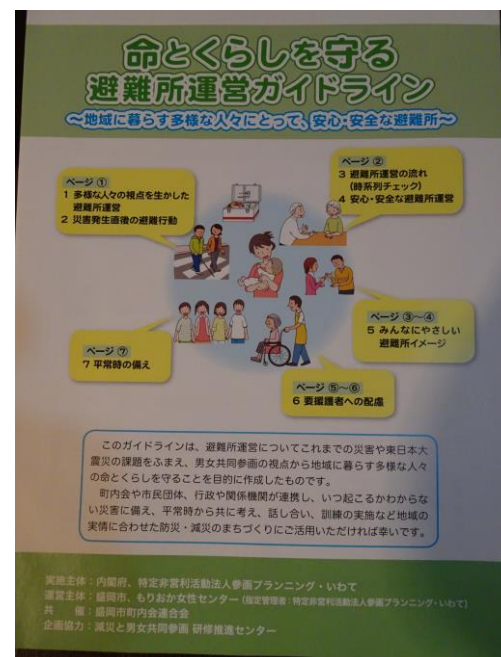
「宮城県仙台市男女共同参画推進センター」

- 3) **委託内容**

- 事業検討会の設置
- 人材育成の実践事例の成果と課題の整理
- 人材育成の対象及びプログラムの内容・方法の検討

もりおか女性センター(盛岡市) 「多様な人々の視点を活かす、女性リーダー 養成事業」

- **内容** センターで市民参加により作成済の避難所ガイドラインを用い、現状を分析ししつつ各地域独自のマニュアルを作成した。
- **主な参加者**は、積極的に町内会、自治体の職員など男性の参加を呼びかけた。
- 盛岡市、宮古市の2箇所開催



エル・ソーラ仙台(仙台市)

「仙台版防災ワークショップみんなのための避難所ガイドラインづくりファシリティーター養成講座」

- **内容:**受講者が今後、地域でワークショップを体験し、運営することを前提に、防災ワークショップ手法が紹介された。テキストを使ったワークショップは、震災の際、実際に起こった問題を題材にして、参加者がその解決策について、多様な視点、地域のリソース分析をして、話し合う。参加者の主体性が引き出されるように工夫されているプログラムである。
- **主な参加者** 町内会、自治会、民生委員、婦人防災クラブ
- **報告書,冊子など:**「仙台防災ワークショップみんなのための避難所作り」(2015.5.30)



福島県男女共生センター（二本松市） 「あしたからの始めの一步が踏み出せる～女性の ための防災入門講座」

- **プログラム内容:** 防災基礎知識の共有、グループ内での被災体験の共有、震災・原発事故による福島県が抱える課題の整理と解決方法、WCDRR3の結果を踏まえた国際的な課題を確認した。
- **主な参加者** 福島県・市町村行政職員(男女共同参画・防災担当、男女共同参画センター講
- **報告書: 冊子** 「災害とジェンダー関連事業報告書～東日本大震災と原発事故の取り組みを振り返る」(2015年7月)



街づくりに変革をもたらす地域の女性リーダーたち ～流山市の女性リーダーの活動の実践事例～ 「NPO法人パートナーシップながれやま」

防災ハンドブックを契機に 街へ



避難所運営体験を通して男女共同参画の視点を自治会へ

2019 連続6回の講座

「女性防災リーダー養成講座」

講座終了生による

「流山防災まちづくりプロジェクト」

地域の自治会と連携して男女共同参画の視点で避難所マニュアルを作成する出前講座に取り組んでいる。



JICA課題別研修 ジェンダー・多様性からの災害リスク削減



- 2016年から17カ国（アンティグア・バーブーダ、イラク、インド、インドネシア、カンボジア、コロンビア、スリランカ、タイ、チリ、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブータン、ベトナム、ミャンマー、メキシコ、ネパール）からのべ81名（女性55名、男性26名）が参加
- JWNDRRの活動について講義をおこなうとともに、アジアや中南米からの研修生とのネットワークも構築し、アジア防災閣僚会議などでも連携してサイドイベントを実施

安全でレジリエントな社会をめざして トレーニングニシティブの力

- ジェンダーと多様性の視点に立脚したトレーニングプログラム
- 世界的な状況の変化の対応したプログラムの進展
- プログラムの発信と情報の共有
- トレーニング計画の継続的实施
- 地域の特性、地域力、ネットワークの活用
- ジェンダーと多様性の視点に立脚した制度や防災政策に対するロビー活動